

2023年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)



2023年2月9日

上場会社名 株式会社サン・ライフホールディング 上場取引所 東
 コード番号 7040 URL https://sunlife-hd.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 比企 武
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役業務支援本部長 (氏名) 佐野 秀一 (TEL) 0463-22-1233
 四半期報告書提出予定日 2023年2月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第3四半期の連結業績(2022年4月1日~2022年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第3四半期	9,150	12.1	572	155.5	639	105.6	90	△45.5
2022年3月期第3四半期	8,159	8.9	223	—	311	—	166	—

(注) 包括利益 2023年3月期第3四半期 62百万円(△60.4%) 2022年3月期第3四半期 158百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第3四半期	14.81	—
2022年3月期第3四半期	27.19	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第3四半期	34,869	4,762	13.7
2022年3月期	35,287	4,895	13.9

(参考) 自己資本 2023年3月期第3四半期 4,761百万円 2022年3月期 4,894百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	16.00	—	16.00	32.00
2023年3月期	—	16.00	—	—	—
2023年3月期(予想)	—	—	—	16.00	32.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日~2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	12,100	9.5	780	120.0	840	85.0	135	△66.8	22.04

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期3Q	6,820,000株	2022年3月期	6,820,000株
② 期末自己株式数	2023年3月期3Q	696,844株	2022年3月期	696,844株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2023年3月期3Q	6,123,156株	2022年3月期3Q	6,123,156株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束するものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間のわが国経済は、ウクライナ情勢の影響によるエネルギー価格や原材料価格の上昇、および円相場の急変動や世界的な金融引き締め政策により、先行きは依然として不透明な状況となっております。また、新型コロナウイルス感染症についても、新規陽性者数が低い水準に落ち着きつつありましたが、新たな変異株の市中感染が続いており、景気の下振れリスクとなっております。主要事業において、ご葬儀のご用命数が堅調に推移したこと、さらには行動制限の緩和によりご宴席や集会の機会が増加したことにより、売上高は前年同四半期比12.1%増の9,150百万円、営業利益は前年同四半期比155.5%増の572百万円、経常利益は前年同四半期比105.6%増の639百万円となりました。

また、2022年6月24日開催の第4回定時株主総会において、退任取締役に対し特別功労金360百万円を贈呈する議案が承認され、これを当第3四半期連結累計期間において特別損失として計上したことに伴い、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同四半期比45.5%減の90百万円となりました。

各セグメントの業績を示すと次のとおりであります。

①ホテル事業（ホテル・ブライダル事業）

ホテル事業では、2022年4月より行動制限が緩和され、ご婚礼の施行組数、ご宴会の件数、宿泊の稼働率、ご婚礼の新規予約組数が増加しました。政府が推奨する「感染拡大防止に向けた取組」を徹底し、ご利用者様、スタッフの安全を確保しながら事業運営を行っており、また、積極的な広告宣伝を行い、業績回復を目指した結果、売上高は前年同四半期比52.4%増の798百万円、営業損失は43百万円（前年同四半期は182百万円の営業損失）となりました。

②式典事業（葬祭・法要事業）

式典事業では、競合環境の激化、新型コロナウイルス感染症の影響による儀式儀礼の小規模化の流れの中、お客様からご用命いただけるよう企業基盤を強化していくことが求められております。ご葬儀、仏壇仏具、法事法要、埋葬や相続などのアフターフォローのご用命数を増やすため、集客型イベントの開催、広告による認知度向上策、ご相談体制の強化、人材教育を強化してまいりました。2022年9月には家族葬対応施設「ファミリーホール茅ヶ崎」（神奈川県茅ヶ崎市）を開設しました。また、施設のご利用価値向上のため2022年6月に平塚斎場（神奈川県平塚市）のご安置室の改装を行い、2022年11月に八王子北ロファミリーホール（東京都八王子市）の式場の改装を行いました。引き続き、施設の新規開設のほか既存施設のリニューアルを積極的に行い、ご利用者様の利便性を高めてまいります。

その結果、ご葬儀件数は増加し、売上高は前年同四半期比12.7%増の6,537百万円、営業利益は前年同四半期比15.6%増の1,370百万円となりました。

③介護事業（介護事業・有料老人ホーム事業）

介護事業では、サービス利用者の増加とサービス品質向上に努めました。デイサービス・ショートステイの施設であるエミーズや住宅型有料老人ホームのクローバーライフにおいて発生した、新型コロナウイルス感染拡大に伴う営業休止やサービス件数低下の影響を受けております。施設の入居率、サービス利用件数は回復しつつあるものの、売上高は前年同四半期比3.3%減の1,413百万円、営業損失は73百万円（前年同四半期は1百万円の営業損失）となりました。

④その他事業（少額短期保険他）

その他の事業では、各種手数料・管理収入、少額短期保険収入やハウスクリーニング事業収入の増加等があり、売上高は前年同四半期比8.3%増の400百万円、営業利益は前年同四半期比65.8%増の13百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における資産は、前連結会計年度末に比べ417百万円減少し、34,869百万円となりました。これは、預け金の減少等による流動資産の減少177百万円、のれんの減少等による無形固定資産の減少119百万円、投資有価証券の減少等による投資その他の資産の減少174百万円があったこと等によるものです。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末に比べ284百万円減少し、30,107百万円となりました。これは、未払法人税等及び引当金の減少、買掛金及びその他流動負債の増加等による流動負債の増加81百万円があった一方、前払式特定取引前受金及びその他固定負債の減少等による固定負債の減少365百万円があったことによるものです。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べ133百万円減少し、4,762百万円となりました。これは、親会社株主に帰属する四半期純利益90百万円を計上した一方、配当金の支払195百万円により利益剰余金が105百万円減少したこと等によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、実績及び最近の業績動向等を踏まえ、2022年11月9日の「2023年3月期第2四半期(累計)連結業績予想と実績値との差異及び通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」で公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,993,583	9,212,647
売掛金	573,648	614,616
有価証券	235	258
商品	34,374	37,416
原材料及び貯蔵品	60,199	67,626
預け金	551,641	47,429
その他	439,671	496,080
貸倒引当金	△808	△1,312
流動資産合計	10,652,546	10,474,762
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	6,651,989	6,584,631
土地	8,309,677	8,314,033
その他(純額)	411,069	528,381
有形固定資産合計	15,372,737	15,427,046
無形固定資産		
のれん	1,163,400	1,044,925
その他	208,079	206,962
無形固定資産合計	1,371,480	1,251,887
投資その他の資産		
投資有価証券	2,633,522	2,451,045
供託金	1,182,465	1,190,965
その他	4,107,333	4,105,830
貸倒引当金	△32,723	△31,596
投資その他の資産合計	7,890,596	7,716,244
固定資産合計	24,634,814	24,395,179
資産合計	35,287,360	34,869,941
負債の部		
流動負債		
買掛金	445,359	561,276
未払金	266,827	268,764
未払法人税等	121,582	63,895
引当金	188,330	113,722
その他	1,083,372	1,179,071
流動負債合計	2,105,471	2,186,730
固定負債		
前払式特定取引前受金	26,559,267	26,387,842
引当金	47,030	43,016
退職給付に係る負債	161,705	168,463
その他	1,518,324	1,321,603
固定負債合計	28,286,327	27,920,926
負債合計	30,391,798	30,107,657

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	100,000	100,000
資本剰余金	761,914	761,914
利益剰余金	4,686,731	4,581,487
自己株式	△685,696	△685,696
株主資本合計	4,862,950	4,757,705
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	31,452	3,403
その他の包括利益累計額合計	31,452	3,403
非支配株主持分	1,159	1,174
純資産合計	4,895,562	4,762,284
負債純資産合計	35,287,360	34,869,941

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
売上高	8,159,283	9,150,329
売上原価	6,340,150	7,029,441
売上総利益	1,819,133	2,120,887
販売費及び一般管理費	1,595,160	1,548,622
営業利益	223,972	572,265
営業外収益		
受取利息	10,482	5,488
受取配当金	7,093	7,665
前受金月掛中断収入	17,208	17,348
不動産賃貸収入	15,545	15,630
助成金収入	36,220	7,214
その他	26,197	36,309
営業外収益合計	112,747	89,657
営業外費用		
不動産賃貸費用	5,461	5,412
前受金復活損失引当金繰入額	18,651	16,082
その他	1,335	465
営業外費用合計	25,447	21,961
経常利益	311,272	639,961
特別利益		
固定資産売却益	19,999	-
受取保険金	6,791	-
特別利益合計	26,791	-
特別損失		
固定資産除売却損	17,199	14,464
特別功労金	-	360,000
特別損失合計	17,199	374,464
税金等調整前四半期純利益	320,863	265,496
法人税、住民税及び事業税	139,857	159,382
法人税等調整額	14,462	15,403
法人税等合計	154,319	174,785
四半期純利益	166,544	90,711
非支配株主に帰属する四半期純利益	11	15
親会社株主に帰属する四半期純利益	166,533	90,696

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
四半期純利益	166,544	90,711
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△8,314	△28,048
その他の包括利益合計	△8,314	△28,048
四半期包括利益	158,230	62,663
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	158,218	62,648
非支配株主に係る四半期包括利益	11	15

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	ホテル事業	式典事業	介護事業	計				
売上高								
(1) 外部顧客への売上高	524,113	5,802,939	1,462,274	7,789,327	369,955	8,159,283	—	8,159,283
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	52,959	25,536	512	79,009	25,006	104,016	△104,016	—
計	577,073	5,828,476	1,462,787	7,868,337	394,962	8,263,299	△104,016	8,159,283
セグメント利益又は 損失(△)	△182,043	1,185,532	△1,888	1,001,600	8,402	1,010,003	△786,030	233,972

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ファイナンシャル・サポート・サービス、少額短期保険業、清掃業他が含まれております。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△786,030千円には、セグメント間取引消去39,583千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△825,614千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	ホテル事業	式典事業	介護事業	計				
売上高								
(1) 外部顧客への売上高	798,722	6,537,775	1,413,311	8,749,809	400,519	9,150,329	—	9,150,329
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	67,282	35,981	510	103,774	28,192	131,967	△131,967	—
計	866,005	6,573,756	1,413,822	8,853,584	428,712	9,282,296	△131,967	9,150,329
セグメント利益又は 損失(△)	△43,126	1,370,511	△73,110	1,254,274	13,932	1,268,207	△695,942	572,265

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ファイナンシャル・サポート・サービス、少額短期保険業、清掃業他が含まれております。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△695,942千円には、セグメント間取引消去39,407千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△735,349千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。